

令和4年度地域学校協働活動研修会 兼 人づくりまちづくり研修会①

- 1 目的 おかやま子ども応援事業等の教育支援活動を効果的に進めるために、地域連携担当教職員、地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター、学校支援ボランティア、放課後・土曜日等支援関係者、家庭教育支援関係者、公民館関係者、行政関係者等の資質の向上を図る。
- 2 主催 岡山県教育委員会・おかやま子ども応援推進委員会
- 3 日時 令和4年6月24日（金）13:30～15:50
- 4 会場 津山市中央公民館
- 5 参加者 地域連携担当教職員、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、学校支援ボランティア、放課後・土曜日等支援関係者、家庭教育支援関係者、公民館関係者、学校・家庭・地域の連携・協働に興味関心のある方、行政関係者等
- 6 日程
- | | |
|-------------|--|
| 13:00～13:30 | 受付 |
| 13:30～13:35 | 開会行事 |
| 13:35～15:05 | 【講演】
「人・地域・まちを紡ぐ連携・協働のあり方」
講師 文部科学省国立教育政策研究所生涯学習政策研究部
総括研究官 志々田 まなみ 氏 |
| 15:05～15:15 | 休憩 |
| 15:15～15:45 | 【ワークショップ(情報交換)】
「これからの地域と学校の連携・協働の充実に向けて」 |
| 15:45～15:50 | 閉会行事 |



【講演】

- 1 地域学校協働活動（地域学校協働本部）が、今、なぜ求められているか
- 2 地域学校協働活動において、地域づくりに関わる関係者に期待されている役割
- 3 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの違い

- 【ポイント①】 地域学校協働活動は、人口減少社会の時代に求められるまちづくり活動の形です。
- 【ポイント②】 地域学校協働活動は、子どもの成長を中心に、多様な大人どうしに関わり合える関係をつくる活動です。
- 【ポイント③】 社会教育関係者は、「地域とともにある学校づくり」に重要な役割を果たすことが期待されています。



【ワークショップ(情報交換)】

- 1 自己紹介、講演での新たな気付き・再確認したこと
- 2 現在行っている「地域と学校の連携・協働」に関する自身の活動
- 3 今後、それぞれの立場を活かしてできそうなこと



《感想》

- 学校運営協議会と地域学校協働本部の機能や特性が明確になり、それをつなぐ地域学校協働活動推進員の役割の重要性に改めて気付かされました。地域学校協働活動の充実を図り、子どもたちの安心・安全な居場所づくりや学びの場づくりに力を尽くしたいです。[地域学校協働活動推進員]
- 普段、「学校運営協議会制度」の視点から捉えることが多い地域のとの連携でしたが、今日は、「社会・地域から学校を見る」という視点をもつことができました。[教職員]
- 地域学校協働本部事業は、学校支援を通じて地域の大人がつながり合い、地域づくり・まちづくりにつなげていくことが求められていることを知ることができました。[社会教育委員]
- 地域学校協働活動の本質や学校運営協議会委員としての役割について、再確認できました。[公民館職員]